

じぶんの未来を考える 志望理由書 お助けシート

大学入試では「なぜその大学に入学したいのか」を記述する「志望理由書」の提出を求める入試が増加しています。多様な入試が増えるなか、私立大学はもちろん国立大学一般選抜でも提出が求められることも。
大阪歯科大学看護学部(仮称)では、医療人を目指す受験生応援企画として、志望理由書作成のための「お助けシート」をご用意しました。志望理由書の作成は、進路選びの“軸”を整理する絶好の機会でもあります。ぶれない自分の“軸”が見えてきたら、志望校選びも、併願校選びもスムーズに進みます。

STEP 01 志望理由書の主人公は、キミ自身。 過去～今の自分を「点と線でつなぐ」 “自己分析”をしてみよう



ツール①

能力診断テスト結果を活用しよう「強みと弱み」
新たな自分はみつかったかな？

→ PROG テスト結果表をチェック！

ツール②

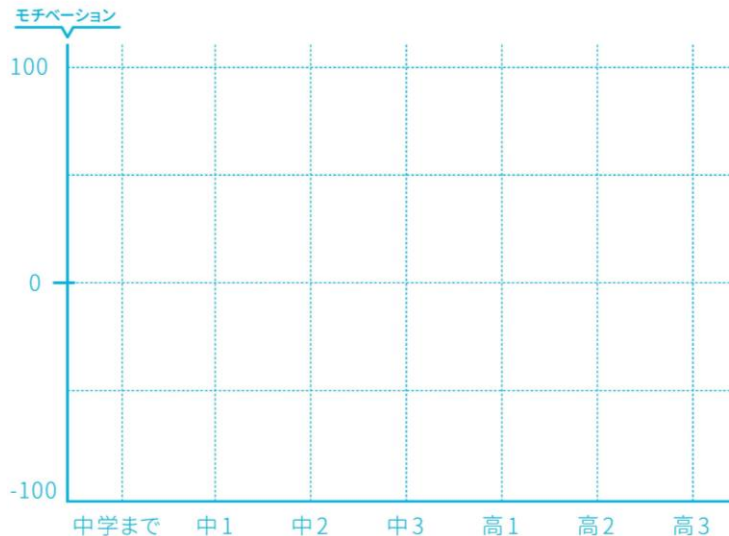
振り返りモチベーショングラフをかいてみよう！

→ 大切にしているキミの価値観のタネ
“うれしい” “楽しい” から考えよう。

① 過去から今までのモチベーショングラフを書いてみよう。

② 上がったところ、下がったところ、その時があったか書き出してみよう。

③ 自分の心が動いた瞬間、揺さぶられた瞬間を振り返ってみよう



POINT

誰のどんなセリフに心動いた？それはどんなシチュエーションだっただろう。思い出してみよう。
隠れていた自分の感動ポイントと改めて向き合うことが自己分析の基本。
進路選択の「きっかけ」として使えるエピソードが見つかるはず！

STEP 02 ざーっと先の 未来の自分を イメージ(妄想)してみよう



分野・仕事

大切なこと

-
-
-

言われてうれしい言葉

-
-
-

好きなこと

-
-
-

たのしい瞬間

-
-
-

ひとつ選んで書いてみる

- × 看護師
- × 保健師
- ×

20年後

こんな自分になりたい

育てたい自分の軸を選んでみよう



STEP 03 過去～現在～未来 自分のなりたい、やりたい、大切にしたい 思いが実現できる大学を選ぼう

ツール①

進学メディア

アプリやサイトもいいけど、比較して書き出す、付箋を貼るなど志望理由書を書くときに便利なのは情報誌。

ポイント①

メインキャッチで気になるワードがあるか

キャッチコピーは、大学の1番のウリ(特長・推し)が書かれている。高1、高2で配布される学部別紹介がある情報誌や分野別特集は手元に残しておくとう便利。

ポイント②

ピックアップ授業・先生・先輩紹介でタネを見つけよう

コラムなどで紹介されているピックアップ授業や先生・先輩紹介は、具体的な共感キーワードを見つけやすい。志望理由書はもちろん、オープンキャンパスやホームページでさらに詳しく調べるタネ、検索ワードにも使える。

ツール②

大学案内

資料請求したら、無料で届く大学案内は、必須の活用ツール。ホームページに比べて、厳選された情報や他学部のことも載っているから、大学全体の雰囲気をつかめる。

ポイント①

カリキュラム表で4年間の大学生活をイメージ

難しそうな授業名が並ぶカリキュラム表だけど、1から4年次まで、専門的な科目はいつから始まるのか、いつ忙しくなるのか、学外実習はあるのかなど、4年間の大学生活をイメージできる。

ポイント②

学部の理念をしっかりと確認

ディプロマ・ポリシーとアドミッション・ポリシーの中には、その大学・学部が大切にしている「育てたい」ワードが盛りだくさん。4年間の教育はもちろん、入学前から卒業後まで、自分の価値観や軸に合う「自分らしく成長できる場所」かどうか確認できる。